

130年の歴史に幕 湯ノ岱小学校閉校式

12月7日、130年の長きにわたり、湯ノ岱地区の初等教育を支えてきた湯ノ岱小学校が来年度より閉校となることを受け、閉校式が執り行われました。

式典では、小助川校長から在校生4人に「これまで湯ノ岱小学校で学んだことを心に刻み、新たな場所でも前進して欲しい」との言葉が贈られ、在校生は「湯ノ岱小学校で学んだことを忘れず、これからも頑張ります」と応えて、参加者全員で校歌を斉唱しました。式典後、引き続き思い出を語る会が開催され、昔の写真のスライド上映や児童による和太鼓演奏が行われました。これまで湯ノ岱小学校は1580人の卒業生を送り出しましたが、この日は、2000人の卒業生や関係者が集まり、学校に飾られた歴代の卒業生集合写真や行事写真から、在学中の自分の姿を探し、懐かしさを感じている方の姿が印象的でした。



本町で行われたスポーツ大会で 子ども達が元気に躍動!



11月から12月にかけて、本町では数多くのスポーツ大会が開催され、各少年団などに所属する児童達が日頃の練習の成果を発揮しました。

11月22日、上ノ国町スポーツ少年団本部主催による『第33回南松山柔道少年大会』が上ノ国中学校にて行われ、本町の柔道スポーツ少年団や上ノ国中学校柔道部に所属する約30人が参加しました。

試合では、子ども達が相手から一本を取ろうとする攻めの柔道を心がけながら日ごろの練習の成果を発揮し、互いの技を競い合いました。

また、11月22日から23日にかけては、松山サッカー協会が主催する『2014 コパコロンフットサル大会』が町民体育館にて開催され、上ノ国町と江差町の子ども達が所属するコロンフをはじめ、渡島・松山から16チームが参加しました。

出場した子どもたちは、小学生ながらテクニクに優れたプレー

やゴールに迫る気迫溢れるプレーを数多く見せていました。

12月7日には、上ノ国町バレーボール連盟が主催する『第7回上ノ国夷王カップバレーボール大会』が町民体育館で開催され、渡島・松山から17チームが参加しました。本町から出場した夷王ジュニアチームは男女ともに健闘し、仲間にボールを繋ぐと必死にボールを追う、チーム一丸の連携が光っていました。

こうした本町のスポーツ少年団の子ども達は、近年、多くの大会で上位に食い込む活躍を見せています。

これは子ども達の頑張りに、各少年団コーチの丁寧で時に厳しい指導、お父さんお母さんの熱い応援が加わっていることで生まれている結果であると思います。

これからも本町の子ども達が、多くのスポーツの場で活躍し、成長していく姿が目に見え、頼もしい印象を受けました。

元気に踊り、元気に唄う! いきいき芸能発表会が開催!

12月16日、上ノ国町老人クラブ連合会主催（高橋廣会長）による平成26年度高齢者いきいき芸能発表会がジョイじよぐらにて開催されました。

約230人の来場者が詰めかけた会場では、町内各地区の老人クラブによる多彩な踊りや演劇、歌唱などが披露され、来場者からは大きな拍手が贈られたほか、時には笑いが巻き起こるなど温かくも楽しい雰囲気となり、発表者も喜んでくれている観客を前にして力が入っている様子でした。

この日は、全32種の演目が行われ、このほか、上ノ国保育所の園児たちによる元気いっぱいな踊りや江差追分全国大会優勝者による民謡も披露されたことで、会場は大きく沸き返り、来場者は大満足の様子でした。

